



# 学校だより

4月号

希望【きぼう】 幸福【しあわせ】 他愛【やさしさ】  
岸谷小ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kishiya>

平成31年4月5日  
横浜市立岸谷小学校  
校長 矢崎 真理

## かけがえのない一人一人を大切に

校長 矢崎 真理

歴史に残る改元の発表があったこの4月に、多くの新たな出会いがある中で、新年度が始まりました。ここ数年は開花が早くて入学式・始業式には散ってしまうことが多かった桜が、ちょうどこの時期に満開を迎えました。岸谷小学校の校庭の桜も美しいです。入学した1年生や進級した子どもたちのことを待っていてくれたかのようにです。

初めまして。4月1日付で岸谷小学校に着任いたしました、矢崎 真理と申します。前任の大島 宏二 校長先生の後を受け、子どもたちの教育に励む所存です。「かけがえのない一人一人を大切に」を信条・教育ビジョンとしています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私たち教職員にとっては毎年繰り返される始業式や入学式の光景ではありますが、一人一人の子どもたちにとっては、何もかもが一生に一回の経験です。「かけがえのない一人一人を大切に」をあらためて実感するときです。新たな年度の始まりに身が引き締まる思いです。

81名の新1年生を加え、全校421名で31年度がスタートしました。新学級の子どもの名前が書かれた名簿があります。一人一人の名前に込められた、保護者や家族の方の思いや願いについて想像し、想いをめぐらしています。一人の子どもの誕生が、その子を取り巻く多くの人の喜びとなり、家族を始め周りの人たちから大切にされていることが想像されます。そういう子どもたちの集まりが教室であり、学校なのだということを再認識しております。日々変化し成長する姿を見せる子どもたちの様子には、目を見張るものがあります。私たち教職員は、そんな子どもたちとともに歩めることを、そんな子どもたちの成長にかかわれることを誇りに思います。

わたくしの学校経営の柱の一つに「豊かで優しい心の教育をめざす」があります。

人は誰でも、自分が幸せで満ち足りているときは他の人にも優しくなれます。でも自分の体調や気分に関係なく常に相手の気持ちになって優しくできるためには、それに左右されない強い心が必要です。自分がつらいときでも人に優しくできる人は本当に強い人です。「優しい」と「強い」ことは、言葉の意味からは正反対のような気がします。しかし「優しい」と「強いこと」がイコールになるのです。人に優しくするのもされるのも、どちらもとてもあたたかい気持ちになります。そういった経験をたくさん積み重ねて、いじめなどのない「優しい学校」をつくっていきたいと考えています。これは校長としての私自身の課題でもあり、ねむの木学園の宮城まり子園長先生の著書にある「やさしくね、やさしくね、やさしいことはつよいのよ。」という言葉を忘れずに、常に自分自身にも語りかけ続けたいと思っています。

岸谷小学校の子どもたち、そして教職員一人一人が、「優しくて強くなる」ことができるよう、地域の皆様方、保護者の皆様方とともに力を合わせ、より充実した教育活動の実践に向けて取り組んでまいります。どうぞ、ご理解、ご協力をお願いいたします。

職員紹介は配付用の学校だよりに記載しています。

行事予定は配付用の学校だよりに記載しています。